



適用及び使用方法

適用農薬名	作物名	使用量 (希釈倍数)	使用方法
殺菌剤	薬液のつきにくい農作物等	3.3~4mℓ/散布液10ℓ (2500~3000倍)	添加
殺虫剤	果樹類 野菜類 茶	3.3mℓ/散布液10ℓ (3000倍)	





△ 効果・薬害等の注意

- 本剤の所定量を散布液に加え、よくかきまぜて調製する。
- 調製後は調製当日中に使用する。
- 大型容器包装の本剤を使用するときは、予め容器ごとよくゆり動かしてから薬液を量る。
- 本剤を散布液に加えるときは、必ず一番最後に添加し散布液を十分かきまぜれば良好な散布液が得られる。
- 稲、麦、キャベツ、ねぎ等のように薬液のつきにくい作物に使用する場合は多めに、果樹、はくさい、きゅうり、ばれいしょ等の薬液のつきやすい作物の場合には少なめに添加する。

△ 安全使用上の注意



- 誤飲などのないよう注意する。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
- 夏期高温時の使用をさける。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。

水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

散布後は水管理に注意する。

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保 管…密栓し、火気・直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。

